

# 令和5年度 永明中学校学校運営協議会運営計画

茅野市立永明中学校 矢崎知広

学校教育目標 R5年度より「響き合い 磨き合い 誠実に生きる」

～ 一人ひとりが輝き みんなが輝く ～

響き合い：多様性を認め合い、互いの思いを感じ、敬い合う心 … 「敬愛」

磨き合い：教育諸活動（授業、部活動、生徒会活動、地域における活動、行事等）を通して、内なる自分や共に活動する人と切磋琢磨することによって、皆が輝くために行う努力 … 「努力」

誠実に生きる：自分自身の生き方、自分を取り巻く人に対して誠実に向き合う精神 … 「誠実」

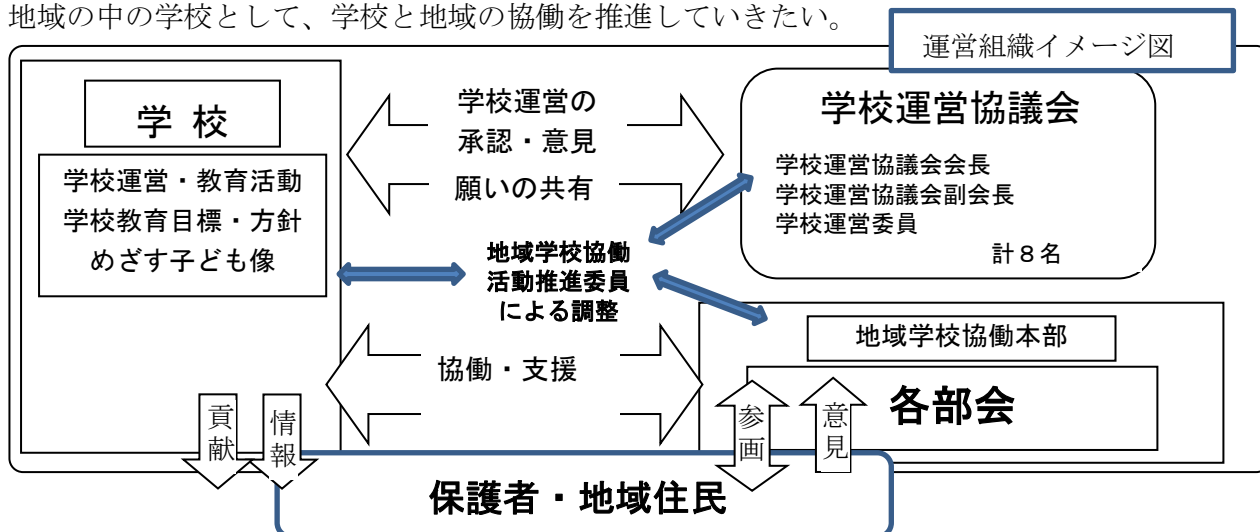
学校教育目標具現に向けた令和5年度のテーマ「自律と共学」

## 1 学校教育目標に寄せる学校長の願い

子どもの成長を軸に考えてみると、仲間と協力し合えた自分、地域の活動で共に活動する方から褒めてもらえた自分、友と同じ目標に向かい汗を流した経験などを通して、集団の高まりの中で自分という存在の成長を意識した場面が多くあったことに気がつく。つまり、他者との関わりの中で、相手（集団）の中に輝く自分（集団の役に立った、自分自身は気がつかなかった良さを見つけてもらった等）があり、その先に自主自立があるのではないかと今は考えている。今も昔も変わらぬ大事な「生きる力」ではないだろうか。そしてこの共に輝く中に、自分も輝く学びから育まれた「生きる力」こそ、予測困難なこれからの時代を生きていく上で大切な力とも考えている。令和5年度グランドデザインでは、学校教育目標の具現のため、「自律と共学」をテーマに、地域と共に生きる学校として歴史と伝統を心にしっかりと刻み、努力していきたいと考えている。

## 2 令和5年の重点 ～国型コミュニティー・スクールに移行して～

昨年までの本校コミュニティースクールは、地域住民の方に、日常的に学校に来ていただき、教育活動に必要な支援をしていただいていた。子どもたちは地域の方々に大事に支援される側であった。これからは、学校運営協議会会員の皆さんと熟議をしながら、地域の活動に参画できる学校を目指していきたい。学校と地域が「このような子どもに育てたい」「このような地域にしていきたい」「そのために学校では何ができる」というように、願いを共有しながら、一体となって地域の中の学校として、学校と地域の協働を推進していきたい。



### 3 運営組織

#### (1) 学校運営協議会 ※ネーミングを検討中

組 織	氏 名
会 長	樋口 公男 R4CS 会長 同総会顧問 前同窓会長
副会長	平出 美彦 R4CS 副会長 R4 同総会副会長
地域学校協働活動推進委員 (Co)	矢崎 美知子 元人権擁護委員
委員	吉田 貞夫 元PTA 会長 元米沢コミュニティ所長
委員	宮下 荘治郎 元上諏訪中学校校長
委員	北原 明 R5PTA 会長
委員	小川 深志 主任児童委員
委員	小川 利春 ちの地区コミュニティーセンター長
委員	矢崎 知広 学校長
委員	山崎 聡 教頭 事務局

#### (2) 地域共同本部 (旧コミュニティースクール) ※ネーミングを検討中

組 織	活 動 案
地域学校協働活動推進委員 (Co)	○学校運営協議会との連携 ○支援要望把握と地域との連絡・調整 ○PTA・同窓会との連携等
学習支援部	○放課後や長期休業中等の学習支援等
体験活動支援部	○総合的な学習、縄文市民科学習への支援等
心の支援部	○個別相談、福祉ボランティア交流等
読書教育支援部	○読み聞かせ、読書ボランティアとの連携等
部活動支援部	○部活指導、施設環境整備、道具整備
環境安全整備部	○樹木伐採、草刈り、通学路見守り、ボランティアルーム設置等
事務局 教務主任 教頭	○運営委員会通信連絡事務、保険加入、ボランティアルーム管理等

### 4 運営会議 学校運営協議会 地域協働本部 共に年6回

日 時	内 容
4月24日(月)	国型への移行に関わる協議 (CSの意義、ねらい、各部会組織検討・自己紹介、年間計画立案、意見交換)
6月2日(金)	第1回学校運営協議会 役員を選出 学校運営方針の承認 等 地域協働本部は中止
7月4日(火)	新校舎見学 地域見守り防犯について、国際交流(台湾)、資源回収への協力 PTA 講演会(共催) 新年度の学校運営関係(引越含む)
10月5日(木)	授業参観 ジョブギャラリー
12月7日(木)	新校舎への引越 R6年度からの学校運営
3月1日(金)	新校舎への引越 新年度の運営